

図画工作科指導案

平成 15 年 11 月 12 日(水)

授業者 齊藤雅一・高橋征嗣

題材名 知ってる？日本語、知ってる？ねんどが消しゴムになる。

目標

- ・ 日本語から動作を理解する。
- ・ ねんどが消しゴムになるという変化を楽しむ。
- ・ ねんどの素材を生かしながら、道具や色を効果的に使い、創造的に表現できる。
- ・ 互いの作品を鑑賞し合い、他人の作品の良さを認める。

実施生徒

ピタゴラス 3～4年生 30名程度

本時の学習

(1) ねらい

日本語を通して、ねんど消しゴムの制作を理解し、変化する素材の楽しみを味わう。

(2) 準備するもの

教師：「ねんど消しゴム 5 色 6 本セット」(ヒノデワシ社製) × 30 個程度

ねんど台 (コピー紙・A4 程度を使用、30 枚)

ねんどペラ (割り箸を加工し代用する。30 本)

鍋 (ねんど消しゴムをゆでるためのもの、2 つ)、携帯コンロ 2 台

説明用紙製パネル 8 枚

生徒：特になし

(3) 展開

| 学習活動と子ども意識 | 教師の支援および留意点 | 時間 |
|--|--|------|
| 【導入】 使用するねんど消しゴムを確認する (この箱には何が入っているかな) (何本入っているかな)(どんな色があるかな) ねんどペラを確認する 制作の手順を理解する (日本語では何て言うのかな) ねんど消しゴムで文字が消せるか確かめる | 自己紹介 「ねんど消しゴム 5 色 6 本セット」を全員に配布する。箱を開け、中身を確認するよう指示する ねんどペラを配布する 手順の説明をパネルで行う 生徒に消しゴムを渡し、消えるか確かめる | 15 分 |

| | | |
|---|--|------------|
| <p>【制作】</p> <p>ねんどでつくる (何をつくろうかな) (何色を使おうかな)</p> | <p>生徒の作品が完成しだい湯通しをする 多様な表現ができるように既製の作品を見せる などして支援する(T2が生徒の近くに行って支援する) 最後は作品をまとめ湯通しを行う</p> | <p>20分</p> |
| <p>【まとめ・鑑賞】</p> <p>色の理解 自分の一番好きな色、もしくは一番多く使った色 を日本語で理解する (何色のことをこう言うのかな) (自分の使った色は何だったかな) 作品発表 友達と互いに何をつくったか発表しあう</p> | <p>日本語がわからなくても予想できるように、色の名前をそれ自身の色でパネルに表記する (例えば『きいろ』なら黄色で文字を書く)</p> <p>作品発表を促す</p> | <p>10分</p> |

所感

予想される効果

日本語を扱うことで異文化の存在を感じる。

ねんど消しゴムの制作を通じて、創作することや表現することに興味を持つ。

予想される困難点

時間が足りない恐れがある。その場合、湯通しを授業時間外に行う必要がある。

生徒の実態を把握しきれてない。生徒の日本語理解力によっては、授業の展開やT2の支援の仕方が変わる恐れがある。